

令和2年度第1回 四街道市みんなで地域づくり推進委員会 次第

日時：令和2年7月6日（月）9時20分～

会場：四街道市役所新館1階会議室及び

四街道市みんなで地域づくりセンター

1 開 会

2 委嘱状交付

3 経営企画部長あいさつ

4 委員長及び副委員長選出

5 議 事

（1）令和元年度地域づくりコーディネーター業務報告

（2）令和2年度地域づくりコーディネーター業務計画

（3）みんなで地域づくり事業提案制度（令和元年度実施）事業ふりかえり

6 そ の 他

7 閉 会

# 令和元年度 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業報告

四街道市みんなで地域づくりセンター  
 受託団体：特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

## 1. 施設利用状況

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
来所者数 (人)	212	239	1156	331	325	220	233	153	135	86	170	98	3358
1日あたり来所者数 (人)	11	13	55	16	14	11	12	7	10	7	9	5	15
ミーティングスペース 利用団体 (団体)	25	19	18	15	20	12	14	13	5	8	13	11	173
ミーティングスペース 利用人数 (人)	144	121	192	118	111	98	117	63	39	50	71	56	1180
新着情報 (件)	39	40	45	42	39	48	43	30	22	31	28	34	454
相談件数 (件)	5	12	8	9	4	3	6	5	4	4	6	3	69

オープン日：238日（通常オープン日230日、休館日などに講座・企画事業などを実施した日8日）

※来所者数には、みんなで地域づくりセンター以外を会場とした主催事業等の参加人数も含まれます。（6月28日29日大きなテーブル830人、夏休み小学生ボランティア体験7月8月82人など）

### 臨時休館および運営体制について

・10月12日 台風19号接近に伴い臨時休館

・10月29日 臨時休館（文化センター耐震工事により、文化センター1階旧レストラン内に移動）

・12月3日～3月31日 センター移動に伴うセンターオープン時間変更、火曜日～金曜日18時閉館

耐震工事が本格化することに伴い、利用者の安全面や施設の管理運営面も考慮。工事中は、文化センター会館棟のトイレが使用不可。

・12月20日～1月15日 臨時休館 騒音、埃、振動等が激しく、センターの利用ができないため。

期間中もコーディネーターによる相談対応は可能とし、火曜～金曜 8:30-17:15 はシティセールス推進課、土曜 9:00-17:00 は業務責任者まで、ご連絡いただくこととした。その間、最低1名はセンターコーディネーター等が対応できる状態（勤務体制と同等）とし、センターはいつでも作業は可能として業務を進めた。

・3月14日～3月末、センターでの5人程度以上での集まりなどでの使用はご遠慮いただき、相談などの受付対応は引き続き行った。（新型コロナウイルス感染拡大予防のため）

上記の運営体制の変更について、その都度、ホームページ、Facebook、メールマガジン、掲示、留守番電話などによりお知らせをした。

### ・1月～3月の講座や地域づくりサロンなどの企画について

文化センターの工事のため、センターに来館者が少ない時期であるため、センターの外で行う講座や地域づくりサロンを以下のように計画した。

2月中の企画は開催できたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、3月1日の「まちにとけこむアート活動」、11日の「みんなで災害支援ネットワーク会議」は、講師、事例報告団体とも相談のうえ、開催を延期し、次年度に計画しなおすこととした。

事業名	主な対象	開催時期・曜日	会場
第1回子ども食堂交流会・学習会 （食の安全に関する連続講座1回目）	子ども食堂、居場所運営者など	2月13日（木） 10:00～13:00 ⇒実施	わろうべの里2階 食のスタジオ
市民活動団体のファンドレイジング（資金調達） 講座「共感を得て活動資金を募るためには」	資金調達に関心のある 団体および個人	2月22日（土） 13:30～16:30 ⇒実施	総合福祉センター 3階会議室

(地域づくりサロン) まちにとけこむアート活動 誰でも参加できるアートでまちづくり	アートとまちづくりに 興味のある人	3月1日(日) 10:00~12:30 →延期(4/19)	総合福祉センター 3階会議室
NPO・市民活動団体のための みんなで災害支援ネットワーク会議	市民活動団体	3月11日(水) 13:30~16:00 →延期(時期未定)	保健センター3階 大会議室

## 2. 主なセンター事業と業務

### ア、地域課題への取組みのプロデュースに関すること

#### イ、地域づくりを担う主体のネットワークに関すること

- 「地域づくりサロン」や地域づくりをテーマとした講座などを開き、地域課題への取組みにつなげる。
- 地域で市民や団体、事業者、関係機関などが、連携・協力して、地域の課題解決ができるようコーディネートする。

#### 地域の高齢化の中での困りごとを解決するためのコミュニティづくりをサポートすることについて

##### ・地域づくりサロン「自治会情報交換会」令和元年度第1回(第20回)

日時 10月5日(土) 9:30~12:00 場所 総合福祉センター大会議室 参加21人(うちスタッフ等7人)  
自治会運営や地域の困りごとを解決しよう!

##### 1. 講演 「地域の生活者としての外国人 ～アフガニスタン人の場合」

田島和歌子さん(愛国学園大学人間文化学部 准教授 国際情報ビジネスコース国際協力分野)

##### 2. 情報交換 自治会運営上の情報や地域課題についての意見交換

- ①外国人のこと…講演から、地域(自治会)に外国人(特にアフガニスタン人)居住者が急増していることを地域(自治会)がどのように捉えているかが浮き彫りになり、アフガニスタンの方々とのコミュニケーションやアフガニスタンの子どもたちの教育と将来を心配する意見が多数あった。
- ②自治会運営について…高齢化に伴う役員の後継者や活動の担い手不足については、解決策として、責任・役割の分散による会長・役員負担の軽減や活動の運営委員会化の事例が増えてきている。
- ③台風15号に伴う事後の処理において、市の対応への不満も多く日頃の市との連携の必要性を認識した意見も出された。

開催後、概要のまとめとアンケート結果を各自治会に配布した。

##### 今後の展開

「地域の生活者としての外国人～アフガニスタン人の場合」のテーマで講演をしていただき、参加者からも「地域での外国人との交流を図りたい」「できることがあれば支援をしたい」との意見が出された。今後、交流の接点がつかめれば、自治会や市民の方々と共に、交流の場づくりを進めたい。

新たな地域課題(外国人対応や高齢者の足の確保など)への取組み、自治会活動の運営委員会方式化や市民団体との協働などにより活動する組織作りなどを提案していく。

- ・四街道市地域支え合い推進会議にメンバーとして参画し他団体・他機関と連携して取り組んだ。

#### 子どもをめぐる環境の課題を解決するためのコミュニティづくりをサポートすることについて

##### ・子どもサポートプロジェクト

目的 センターと市民(子どもサポートプロジェクトメンバー)が協働して、支援を必要としている子どもの居場所づくりや情報発信などの取組みを計画し実践する。

ミーティング 月1回開催。メンバーは、プロジェクトメンバー8人+センタースタッフ等

### ①居場所づくり 中高生のオープンスペース「RAKUまある」

千代田地5丁目ちよこっとサロンにおいてオープンに向け準備。子ども食堂開催の届け出として保健所へ「子ども食堂相談票」を提出。7月19日(金)地域の人に知ってもらうため夏祭りに出店。9月17日オープンから、毎月第3火曜日16:00~20:00に実施10月15日、11月19日、12月17日、1月21日、2月18日(3月は中止)に、作る、食べる、おしゃべり、ゲーム、体を動かす、本読む、宿題、何もしないなど気ままに過ごせる場所となっている。地域の方から野菜などの寄付、スタッフの参加あり、地域に少しずつ認識され、12月クリスマス会では子ども18人、大人13人、スタッフ9人の合計40人が参加。

### ②情報発信

・大人向けチラシ「困っている子いませんか/ここにおいてよマップ」に掲載する子どもの居場所を運営する団体や機関に、趣旨を伝え掲載の可否と内容について確認した。12,000部印刷、市内小・中学校児童生徒、民生・児童委員、自治会回覧、掲載団体、関係機関、公共施設などに配布(6月)

・子ども向けチラシ「よつかいどうこどもたちのいばしょさがし/みんなの居場所あんない図」12000部作成。年度内に小学校等に届けたが、新型コロナウイルス感染予防のための休校などもあり、子どもへの配布時期は各学校にお任せした。

・情報サイト(ホームページ)掲載内容の検討を行い、チラシを補完する内容で発信をはじめた(6月)

### ・子ども支援団体交流会・円卓会議

目的 子ども支援に関わる取り組みの運営者の情報交換と課題解決を図る。

日時・場所 7月30日(火)9:30~11:50 保健センター大会議室 参加34人(スタッフ等6人)

内容 ・子どもサポートプロジェクトの経緯と進捗状況、「ここにおいてよマップ」と情報サイトの紹介

・関係機関担当者、居場所運営者からの子どもの現状について報告

子育て支援課家庭相談員、教育委員会指導課教育サポート室、ほのぼのテーブル・ほのぼの学習広場、四街道プレーパークどんぐりの森、RAKUまある

・3人グループのディスカッションと発表

①事例報告についての感想 ②今後地域でできることについて

・子どもの現状についての報告と、グループディスカッションのまとめ

参加者の感想 今後できたつながりを生かしたい/今後も交流の機会・場が必要とされている/子どもサポートプロジェクトに参加する(1人)

成果と今後の展開

子ども食堂や居場所づくりなど、場の特性にあわせて情報交換ができ、行政相談窓口も含めて、お互いの取り組みについてじっくり聞く機会となった。

子ども食堂が増えてきた中で、食の衛生管理と、ボランティアの確保、子ども達への周知が課題となり、今後も子どもサポートプロジェクトと連携して交流会を開催していく。

### ・子ども見守りサポーター養成講座・実践編

~子どもの居場所に必要なサポーターとはどんな人?~

目的 校内居場所カフェの実践者から、居場所の必要性、具体的な大人の関わり方など、子どもを見守り支援していくために必要な視点を学ぶ。

日時 12月8日(日)13:30~15:30

参加 31人(うちスタッフ等7人)市内の他、千葉市、八千代市、小田原市からも参加があった。

講師 石井正宏さん(NPO法人パノラマ代表、神奈川県立田奈高校図書館カフェ運営者)

内容 NPO法人パノラマとは/子どもが置かれている現状~貧困、ひきこもり~/居場所ってどんな場所?/居場所カフェのコンセプト/ワークショップ「居場所でみかけるシチュエーション、こんなときどうする?」

[参加者アンケートから]

「専門性より関係性」という言葉に励まされた。話してもらえる関係性をたくさんつくっていきたい／高校校内に居場所カフェという場所があることを知った。動画でカフェの様子を見ることができてよかった／中高生への関わり方／10代の時から居場所がある支援の大切さ。

#### ・第1回子ども食堂交流会・学習会

食の安全に関する連続講座第1回（第2回は7月頃を予定） 参加34人（うちスタッフ等7人）

目的 居場所の中でも最近増えてきた「子ども食堂」の運営者の交流と、開催にあたっての衛生管理を学ぶ場を開く。

日時 2月13日（木）10:00～13:00 場所 南部総合福祉センターわろうべの里 食のスタジオ

概論 衛生講習「食中毒の危険性と予防について ～食中毒を防止するには～」

講師 澤田康弘さん（ウエルシア薬局）

グループワーク ①情報共有 ②①の中から2～3つテーマを決めて意見交換 アイデアを出し合う  
③グループごとに発表

まとめ

- ・グループごとに出された悩みや相談したいことは、「スタッフの確保」「参加者への周知方法」「居場所としての工夫」など共通しており、団体同士が情報交換することで悩みが解決することがある。
- ・今後市内の子ども食堂のネットワークをつくり、情報交換や勉強会などを行い食材の寄付なども共有できたらよいのではないかと意見が出された。講師からも松戸市などでの取り組みの紹介がされ、市の保健センターや、子育て支援、福祉、産業振興などの担当課やボランティアセンターなどにも入ってもらい、情報の共有を図っていくとより運営が安定していくのではないかとのご意見があった。

#### ・居場所づくり ～みんなでおしゃべりできる『居場所』をつくらう！～

中高生のための放課後の居場所 みんなの学食「りんごとはちみつ」(実施団体ハニー&アップル)

平成30年度の居場所づくりの地域づくりサロンの中で立ち上がった活動が、今年度から本格始動した。毎月第1火曜 16:00～20:30、食事タイムは18:00～行う。場所は、日替わりシェフの店 さくらそう。食事代 中高生200円、大人400円。

オープン日 4月5日、5月7日、6月4日、7月2日、8月6日、9月3日、10月1日、11月5日、12月3日、1月7日、2月4日 ※3月3日は中止

・6月から「カレーとタピオカの店」として、北高、四高、北中などにチラシを配布、高校生も含めて30人以上が参加するようになり、高校生スタッフも3人参加。また、スタッフが、神奈川県立田奈高校 びっかりカフェの見学（ボランティア参加）し、居場所での対応を学んだ。

・高校生による 絵本の読み聞かせ「えほんのおうち」（四街道北高校）が、10月19日から毎月第3土曜日、日替わりシェフの店さくらそうでオープンし、センターのFacebookなどで、他の子ども支援の活動と合わせて広報をした。

・子どもみらいフェア （ちば県民活動PR月間賛同事業として）

12月に行う子どもたちに関心を持ち見守る大人を増やすための講座と2つの居場所

「学」子ども見守りサポーター養成講座 12月8日（日）13:30-15:30 市役所5階大会議室

「場」みんなの学食 りんごとはちみつ 12月3日（火）16:00-20:00 日替わりシェフの店さくらそう

「場」中高生のオープンスペース「RAKUまある」12月17日（火）16:00-20:00 ちょこっとサロン

11月9日10日産業祭りで、子どもサポートプロジェクトメンバーが、アピールを行った。

○四街道の魅力発信や地域活性化について、「みんなで地域づくり」（市民協働）をすすめる拠点として市民、市民活動団体、行政、関係機関をつなぎ、コーディネートすることについて

コラボ四街道実施事業について、担当コーディネーターを決め進捗の把握に努めた。四街道・科学未来からくり倶楽部から、プログラミング教室を開く場所をもう一か所探しているとの相談を受け対応した。

- ・里山保全の活動 やまなし月見の里のコラボ事業2年目のサポートを行った。四街道フォレストの協力で整備も進み、開催日には地域の常連親子も増え関心が高まってきた。

○市民の主体的な地域づくりへの参加を促し、多様な人や団体が地域づくりに参加する企画をコーディネートすることについて

#### ・福祉施設 紹介・販売フェア「大きなテーブル」

市内および近隣の福祉施設が一堂に会し、福祉施設製品の販路拡大や就労支援、参加団体と市民、団体同士の交流・連携を図る。各福祉団体が、自分の団体の特色を生かした活動をしながら、賃金アップにつながる商品づくりをして、障害があってもなくても、みんなで助け合って生きていける社会づくりを目指す。

共催 四街道市地域振興財団、協力 障害者支援課 場所 文化センター展示ホール

日時 6月28(金)29日(土) 10:30~14:30 29日(土) 14:00~14:30 参加団体の交流会(活動紹介)

参加 2日間約830人 出店団体2日間で18団体(うち新規参加 2団体)福祉12団体、協賛6団体

障害者自立支援協議会就労部会の合同就職説明会 28日(金) 13:30~17:00 ホワイエにて、また、集客の面で相乗効果を図るため「mamamo ichi」が28日(金) 10:00~14:00 同日開催された。

[出店団体アンケート結果] 提出18団体

達成度「販売」:満足12、普通6「集客」:満足8、普通9、不満足1「広報」:満足9、普通8、不満足1  
団体間や来場者との交流ができたことがよかった(多数)、2団体間での事業の連携ができた。

[実行委員会振り返り] 8月6日

- ・協賛団体が増えるとテーブルが狭くなる、一方、興味を持って参加する人が増えるなど、協賛団体参加について意見分かれるので、次年度5月に開催する実行委員会までにそれぞれの団体の考えを詰めてくる。
- ・障害者自立支援協議会と協働による同日開催は、大きなテーブルへの来場者の流れはあまりないので、就労部会から依頼があれば行すが、積極的に同日開催する必要はないと思われる。

#### 成果と今後の展開

福祉団体による実行委員会が活動を始め、日差しを遮るカーテンの設置や団体紹介の時間など、新たな活動、交流の場づくりを始めた。各団体が販売品の品質の向上を目指すとともに、互いの活動知って連携が生まれるような場づくりをサポートする。

#### ・夏休み小学生ボランティア体験

7月6日~申込み 7月22日~8月26日実施 受入れ12団体14プログラム

受入れ12団体 YSGG、バンド、おしゃべりサロン「ぬくもり」、蔵の図書館、手話ダンス さくらそう、四街道拡大写本の会、NPO 法人四街道メダカの会、ワークショップ四街道、収集整理、福祉ショップこんぺいとう、認定NPO 法人たすけあいの会 ふきのとう、視覚障害者総合福祉センター ちば、四街道スッキリし隊

参加 小学生82人、プログラムに参加した保護者33人

[受入れ団体アンケート結果]

- ・子どもたちに視覚障害者との接点や展示に触れる機会がくれたこと、利用者さんたちが子どもたちと触れ合う機会になったことがよかった/小学生に限らず、大人、大学生にも参加してもらえたことがよかった/低学年の子どもも飽きることなく取り組めた
- ・練習時間が短く子どもたちとコミュニケーションがとれなかった/悪天候に備え、予備日も必要

#### 成果と今後の展開

子どもたちや保護者にボランティア、地域活動について興味・関心を持ってもらうことができた。実施報告(概要と掲載用写真)を作成し、小学校に持参し協力のお礼を伝えた。4校(八木原小、吉岡小、四和小、四街道小)については学校の様子を伺い、総合的な学習を通して地域との関わりが重視されていることを再認識した。また、センターの担う役割を学校に伝えることができた。

今後の実施に向けては、運営方法の整理をして効率化を図りたい。

## ウ、地域づくりの情報の収集、把握、共有及び提供に関すること

### ・情報誌「みんなで」 ～地域のやってみたいを応援する情報紙～

市民活動団体、他市支援センターに送付、市役所、公民館、図書館、協力いただいている店舗等で配架。ホームページにも掲載している。

20号（6月4500部発行。テーマ いろいろな言葉の飛び交う四街道へ）

21号（9月4500部発行。テーマ 若者 四街道 LOVE）

22号（12月4500部発行。テーマ 「ともに」 生きるまちへ）

23号（3月4500部発行。テーマ 「近所の大人」 になろう）

\*20号を読んで市内から日本語学習についての相談が1件あった。9号（平成28年度）「高齢化社会を支え合って生きていこう」を読んで、掲載した自治会に県外の団体から防災活動について取材依頼があった。

### ・Facebook イベントの告知（および延期のお知らせ）、センター事業の様子、団体の活動紹介など伝えた（いいね！ 昨年度末643→今年度末713）

### ・ホームページ

トップページに「みんなでカレンダープロジェクト」を置き、ホームページを訪れる楽しみをつくとともに、四街道に関わる人「みんなで地域づくり」を表現した。（テーマは、ありがとう）

「イベント・カレンダー」にセンターや市の主催事業、市内の市民団体のイベントの予定を掲載した。

\*ホームページで講座の案内を見つけて、子どもサポートプロジェクトやソシオマネジメント勉強会に参加申込みがあった。

↑ \* 「プロジェクト」や「お知らせ」などの一部リニューアルと、更新を迅速にしていくことが課題である。

### ・団体情報 コラボ四街道事業実施団体などに新たな掲載の呼び掛けを行い、既存の団体については、情報の更新の呼び掛けを行った。（ホームページ団体紹介掲載76団体）3月に新年度更新の準備を進めた。

### ・メールマガジン 毎月月末に配信。センターからのお知らせ、地域づくりに役立つ情報、助成金情報など。講座のアンケートに、メールマガジン送付希望者をすることとした（希望者はセンターにメールを送る）

### ・福島県からの避難者のために、届けられる『福島民報』『福島民友』をセンター入り口に配架した。

### ・センター事業まとめの冊子（平成30年度11月1000部発行）センターの事業について深く知りたい人を対象として手渡しして活用した。

配付先 人事課就職説明会等、子どもサポートプロジェクトチラシ掲載団体、地域づくりサロン、市民大学「みんなで地域づくり」受講生、インターンシップ、中学生職場体験、夏休み小学生ボランティア小学校報告、自治体からの視察、NPOクラブから他市講座などで配布など約900部。

### ・「みんなで地域づくりセンター写真展 in 千葉そごう」10月15日～21日

### ・チラシ配架 センター移動につき、11月～3月は限られたスペースで配架を行った。

## エ、地域づくりを担う主体からの相談に関すること

年間相談件数69件（平成28年度76件、平成29年度67件、平成30年度59件）

### 成果と今後の展開

「地域の情報の問合せ」「地域の課題・活性化」に関する相談が多く、団体につないだり、そこから活動が広がることがあるので、今後ともいいいな対応を行いたい。

新規の相談者が全体の半数近く（32件）で、個人や市民活動団体（46件）の他に事業者（13件）や行政・関係機関（10件）からの相談がある。相談は市内だけでなく、ホームページなどを見て市外・県外など広範囲から寄せられているので、普段の事業の中での情報収集や共有を進めておきたい。

また、Facebook掲載や他の方法により、今後も相談受付のお知らせをしていくこと必要と思われる。

内容の分類	件数	主な相談内容
地域の情報の問合せ	23	団体で子ども支援をテーマにしたいので子ども団体の情報を教えてほしい／(福祉施設から)これから販売するのではちみつを販売している団体を教えてほしい／野菜や加工品の販売のためヒアリング先を紹介してほしい／(他県盲学校から)ホームページを見て拡大写本の連絡先を教えてほしい
地域の課題・活性化	22	地域の方がくつろげるカフェを開きたい／地域を元気にするため駅弁を復活させたい／(大学生)地域の公園で交流の場をつくりたい／障害者同士の交流の場をつくりたい／コラボ四街道提案・申請について(5件)
その他	13	卒論テーマ「ご近所づきあい」のアンケートをセンターで協力してほしい／(他市センター運営協議会メンバー)センターの活動内容を知りたい／(パソコンスクールから)求職者支援無料講座の情報を対象にどう届けるか
活動への参加	6	高齢者に卓球を教えたい／子ども食堂や中高生の居場所づくりに関わりたい／農業の経験はないがどこかで働けるところはないか
市民活動団体の運営	3	団体の運営を話し合うミーティングの進行をホワイトボードでフォローしてほしい／パンフレットの印刷の入稿ができないので代わりにしてほしい
I T・パソコン	1	Facebookの使い方 IDが二つあるので整理したい
自治会	1	情報交換会の開催はいつか。退会する人が多くなって困っている。

※法人の立上げ・所轄庁への報告、会計、リスク管理などの項目については、相談件数がいずれも0でした。

#### オ、コーディネーター業務遂行のための各種講習会の実施に関すること

○地域づくりの主体となる団体の運営力を高める。

・「ソシオ・マネジメント勉強会」(毎月第4水曜日 10:00~12:00)

組織運営及びマネジメントについて、テキストを読み合いながら学び、マネジメント力を高める。

テキスト「ソシオ・マネジメントVOL.1」(川北秀人著、IITOE発行)5月22日(水)~全10回。

※参加 ( ) 内はスタッフ等の人数

	日時	内容	参加※
1	5月22日(水)	目的・目標をしぼるチカラ	4人 (2人)
2	6月8日(土) 9:30~11:30 【公開講座】	「ローカルSDGsセミナー」 講師 田島翔太さん(千葉大学大学院工学研究科特任助教) [参加者アンケートより]あらたな視点が得られて新鮮だった/SDGsについて基礎が理解できた/具体的に身近な課題としてとらえるヒントをいただいた/身近なところから取り組んでみたい	23人 (6人)
3	7月24日(水)	調べるチカラ、ニーズを確かめるチカラ 感想 「ソシオ・マネジメント」を参考に事業の見直しや新たなニーズを考えてみたい/様々なことに取り組んでいるが、ロジックで考えるようにしていきたい	5人 (2人)
4	9月25日(水) 【公開講座】	会議で決めるチカラ「ミーティングファシリテーション」 講師 コミュニティファシリテーター 土肥潤也さん [アンケート結果] ・よかったところ…説明と体感型が組み合わせあって理解しやすかった/具体的な内容で実践できることが盛りだくさんだった。 ・よくなかったところ…もっとじっくり時間をかけて学んでみたかった ・今後活動にいかしたいこと…みんなが意見が出るような雰囲気づくり	20人 (5人)



		をして会議に臨む/アイスブレイクの大事さ、話し合いの環境も意見の出しやすさを左右すること/はじめに会議の約束を伝える	
5	10月23日(水)	資金をつくりだすチカラ「ソーシャルビジネス」	5人 (2人)
6	11月27日(水)	対策を考える前に、原因を確認するチカラ	6人 (2人)
7	12月25日(水)	体制を整えるチカラ	6人 (2人)
8	1月22日(水)	事業をふりかえる、申し送るチカラ	5人 (2人)
9	2月19日(水)	会計講座 田沼淳子(NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 会計担当スタッフ) 団体の立上げなどの質問も出された。	10人 (3人)
10	3月25日(水)	事業報告書の書き方 →中止	

今後の展開 この4年で参加した団体は成果を見せているので、当初の目的は果たせたとして、来年度は連続の勉強会は開催せず、相談窓口での対応を行う。

・広報担当者によるおもしろ広報会議—みんなで広報 Day

	日時	内容	参加※
1	6月19日(水) 10:00~12:00	千葉市、佐倉市、成田市、八街市など他市からの参加が多かった。	15人 (2人)
2	9月5日(木)	出来上がった広報物を見ながら互いの活動紹介と意見交換。広報物をどこに配布したら効果的か、写真はどうしたらきれいに撮れるかなど。	6人 (2人)

・地域づくりサロン ~誰も置き去りにしない・されない地域づくり~

地域の課題について知り、事例から課題の解決への取り組みを考え実践に結び付ける。

公開講座1 「認知症になっても地域から孤立しないで自分らしく暮らすということ」

	日時	内容	参加※
1	6月4日(火) 13:30~16:00	(1) 事例報告 國生美南子さん(認定NPO法人たすけあいの会ふきのとうんなの家さら) 布川佐登美さん(NPO法人ケアラーネットみちくさ、柏市) [参加者アンケートより] よかったこと:現場の声が聞けてよかった/やはり地域の人々の助けが必要だとあらためて認識した/認知症の夫との生活に光が見えてきた。地域で支える場所をつくりたいと思う この講座を契機にやってみたいこと:自宅でカフェをはじめたい、少しずつ参加していきたい	44人 (7人)
2	6月18日(火)	(2) 現地学習会 市バス利用 認知症カフェ「シオン」(市原市) ケアマネージャー等専門スタッフとボランティアの力で、毎週火曜と第1木曜(変更あり)開催。 [参加者アンケートより] 認知症カフェを開催したいか 開催したい4、場所があれば2、お手伝いはできる3、今はできない6 コラボ塾:参加する4、参加しない7	22人 (4人)

成果と課題

身近に認知症の方がいるなど内容に興味を持って参加した方は多かったが、実際にカフェを開きたいという人は出てこなかった。手伝いはできるが責任者になるのは気が重いという人が多いので、誰でも気軽にカフェをつくれるような講座の企画をする必要がある。

公開講座2 「外国にルーツをもつ人達の現状を知る」

日時	内容	参加※
7月2日(火) 13:30~16:00	事例報告と質疑応答 小島英俊さん(四街道市国際交流協会)にほん語教室を通して見た外国人市民 白谷秀一さん(NPO 法人多文化フリースクールちば)多文化フリースクールの現状 豊田充さん(教育委員会) 外国にルーツを持つ児童生徒の現状 [参加者アンケートから] 評価は90.7点。外国人の子どものために役立つことをしたい/在留外国人も多いとのことだったので、一緒に街づくりができれば素敵だ/地域づくりの一つとして、訪日外国人に対する事業の提案があれば協力したい	44人 (9人)

成果と課題

四街道市内にアフガニスタン人が多く、彼らだけのコミュニティを形成し、地域との交流がほとんどない状況と、その子どもの就学、進学に困難があることが分かった。日本語の習得を始め地域での生活上のルールを知ることや、互いの交流を通して、地域にとけこんで暮らしていける環境づくりの取り組みが必要である。

・コラボ塾

みんなで地域づくり事業提案制度(コラボ四街道)を活用して、地域の課題解決を図る

日時	内容	参加※
1 9月27日(金)	コラボ塾の趣旨説明、「コラボ四街道」の概要、四街道市の地域課題を出し合おう	12人 (6人)
2 10月11日(金)	「アイデアのたね」を掘り起こし事業を企画しよう「コラボ四街道」の申請書の書き方	11人 (7人)
3 10月25日(金)	企画提案書を書いてみよう、プレゼンしてみよう	13人 (6人)
4 1月24日(金)	本番直前プレ・プレゼン(企画・準備)	10人 (5人)

成果と今後の展開

コラボ四街道に提案した団体で、コラボ塾参加は2団体、コラボ四街道公開プレゼンテーションに向け相談を受けアドバイスした団体が2団体で、延べ3団体のサポートを行い、そのうち2団体が採択された。今回コラボ塾への参加を促すために、地域づくりサロン「誰も置き去りにしない・されない地域づくり」を開催し興味を持って参加した人は多かったが、大半が既に何らかの活動に参加していた。情報を広く伝えていくことと合わせ、コラボ塾の内容の検討とどのように参加を促すか検討する必要がある。

・市民活動団体のファンドレイジング講座「共感を得て活動資金を募るためには」

これから資金を得ようとする団体が、助成金や補助金だけでなく、寄付や会費で団体を支えてくれる人を増やし、会員や寄付者の気持ちをどのように満たすかを学ぶ。

日時	内容	参加※
2月22日(土) 13:30~16:30	講師 徳永洋子さん(ファンドレイジング・ラボ代表) 講義 ファンドレイジングとは/寄付/会費/助成金 紙芝居ワーク(いつでも どこでも 誰にでも 支援を募れるNPOになろう) 質疑応答	27人 (6人)

	<p>[アンケートから]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よかったところ…導入の内容としては、必要なことを十分説明していただいた/会員の募集について大変参考になった/目的が同じなので受講者も熱心だった。</li> <li>・活動に活かせるヒント…ホームページの必要性を痛感した/クライアントから信頼を得て支援してもらえること/MITAS の法則=寄付への気持ちを満たす ※Moved (感動) Interest (関心) Trust (信頼) Action (支援) Share (シェア) /会員拡大のポイント/アフターフォローとステップメールのやり方/感謝の意を会員に伝える</li> </ul>	
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

※新型コロナウイルス感染予防のため、会場の換気、講座形式の変更などを行ったうえで開催した。参加者には、手洗いや(必要な場合の)マスクの着用、体調がすぐれない時は参加を控えることなどを事前に連絡した。

#### 成果と今後の展開

センターでの市民団体のファンドレイジング(資金調達)に関する講座は、近年、コラボ塾での事業企画や申請書の書き方などを除いては行ってこなかったが、今回ファンドレイジングへの関心が高いことを受け、次年度も団体の運営に役立てるため資金調達の講座を開催したい。

#### ・「みんなでポジティブぼやき座談会」ZOOMを使ったオンライン会議

～「今」をポジティブな言葉にしよう!ぼやきが未来を変えるつぼやきになる～

日時	内容	参加※
3月12日(木) 10:00~12:00	<p>新型コロナウイルス感染拡大予防のため、突然の小学校が長期休校となり、子育て世代が子どもの預け先確保や休業を余儀なくされているなど、混乱状態にある「今」を感じて「ぼやき」会うことにより</p> <p>1. リアルな課題を見つけ出す 2. 思いを共有し気持ちを軽くする 3. アイデアのたねをさがす企画につなげる</p> <p>[意見交換されたこと]</p> <p>子どもについて…ストレスが心配、地域ボランティアが学校に入り特別講座(千葉市若葉区小学校の例) 大人について…イベントの中止、「不要不急」ってどのレベルか、公民館が利用できない 気づいたこと…生活の脆弱性や食べることの大切さ、防災意識の重要性</p>	8人 (6人)

#### 今後の展開

センターで初めての試みとしてオンラインでの座談会を行い、人数は多くなかったが普段参加しない人の参加があり手応えがあった。今後、センターの企画に参加できない子育て中の人などに参加の機会をつくるために、オンラインでの講座や会議、オンラインで見られる講座などの必要性を感じた。

#### カ、その他上記遂行のために必要な事項に関すること

- ・センターのミーティングスペースを団体の会議や打合せ(12人前後)に貸出しを行った。  
ただし、新型コロナウイルス感染予防のため、3月14日から末まで、センターでの5人程度以上での集まりなどでの使用はご遠慮していただいた。(利用団体数・人数は上記の施設利用状況表に記載)
- ・他市からの視察  
  - 匝瑳市(市民協働まちづくりの会) 6月6日 センター立上げと現状について
  - 茨城県利根町(まちおこしプロジェクト) 9月17日 みんなで地域づくりについて
- ・中学校職場体験  
  - 四街道北中学校 8月23日 2人、市役所見学、コーディネーターの仕事、団体紹介、アイデアのたね

旭中学校 11月12日(火)13日(水)4人 市役所見学、コラボ四街道U19提案、中高生のフリースペースのチラシ作製

・大学生インターンシップ 8月8日、9日、10日、17日、21日、23日、26日、27日

淑徳大学2人、了徳寺大学1人、千葉大学1人、千葉工業大学1人、昭和女子大学1人

内容 地域の団体訪問、夏休み小学生ボランティア体験、市主催市民対象のワークショップなどへの参加、ブログ作成、コーディネーター会議出席、地域の課題や団体の活動、センターの役割などについてのディスカッションなど

大学生の声

地域型コミュニティとともにテーマ型コミュニティの存在と重要性がわかった/中間支援団体の役割が分かった/地域の課題は人により考えや立場が違うことや地域性などもあり、解決の難しさがあることが分かった/市とセンターと市民がどのようにつながっているのかを理解することができた。

・「みんなで × ○○する」

センターに来たことがない人の来館や地域づくりを知る機会とするため、参加しやすいテーマで「地域づくりサロン」を開く。来館者が少ない夜間の時間帯を活用する。

	日時	内容	参加※
1	4月9日(火)	「みんなで×シニアのためのスマホ講座」センターに初めて来た人が2人。参加者から今まで疑問だったことが分かったと喜ばれた。	6人 (1人)
2	5月14日(火)	「みんなで×シニアのためのiphone講座」	3人 (1人)
3	7月9日(火)	「みんなで×ママのための高校受験対策講座」	9人 (1人)
4	7月19日(金)	「みんなで×世界を旅する～大学生の海外留学体験～海外の暮らし・文化・学び～」参加者は、小学生～高校生、大学生、大人	19人 (1人)
5	11月22日(金)	「みんなで×ハッピーな介護」	4人 (1人)

・災害対応・災害支援 ～災害時における行政・NPO・ボランティア等との連携・協働に向けて～

災害が起きた時にセンターがどういう役割を果たせるかを検討し、市民活動団体や事業者、関係機関との連携を図る。

・危機管理室へのヒアリング5月16日(木) 市の防災対策について伺い、センターの通常業務におよび災害時(主に復旧期・復興期)の支援にセンターが連携することについて説明し理解を図った。

・和良比小近隣区・自治会連絡会および避難所運営委員会 見学6月2日

・広報協力 「防災・減災講演会」8月17日(土) (主催 危機管理室) Facebook 掲載

「総合防災訓練」8月31日(土) 8:30～11:45 中央公園 (主催 危機管理室) Facebook に掲載

・台風15号を受けて

①「よめーる」での情報をもとに応急給水所開設のお知らせ、停電が続く中「ご自宅で過ごすのが大変な方は、センターを休憩にご利用ください」などの発信をした。

②コーディネーター会議の話し合い

市内の被害について情報共有と、センターの役割として、必要な情報を収集して発信することが大切であることを確認した。FacebookなどのWEB以外に、掲示など紙ベースの発信も必要。しかし、情報を受け取れない人、ネットワークを持たない、孤立した人にどう届けるかは、気が付いた人が声を掛けることでしかない。センターの役割として普段から声を掛け合える「つながり」をつくることを今後も進めていくが必要と思われる。

- ・台風19号への対応について

市の防災情報を Facebook でシェアして情報発信を行うとともに、気象情報や災害情報などを配信するメール配信サービス「よめーる」登録を勧めた。

- ・「NPO・市民活動団体のための みんなで災害支援ネットワーク会議」3月11日（水）を企画  
被災時、市民活動団体も被災者の支援ができることを知ってもらうため、市内の福祉施設が支援を受けた事例や、市外の市民活動団体が被災者支援の活動を行った事例を紹介する。

→新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期（時期未定）

#### 今後の展開

今年度新たに「災害対応・災害支援」のテーマを計画に入れ、主に情報収集を行うなか、実際に台風15号や大雨などの災害が出た。その被害に対する支援の活動を学んで今後の活動に活かす第一歩として、「NPO・市民活動団体のための みんなで災害支援ネットワーク会議」を計画した。しかし、新型コロナウイルス感染症予防のため、延期せざるをえなかったため、次年度に時期を見て実施したい。

### 3、全体を通して（次年度に向けて）

#### ア、地域課題への取組みのプロデュースに関すること

##### イ、地域づくりを担う主体のネットワークに関すること

#### 地域の高齢化の課題を解決するための地域のコミュニティづくりをサポートすることについて

- ・自治会情報交換会で話し合われる、高齢化の中での自治会の運営の課題について、その対応策として、運営委員会方式などによる役割分担や市民活動団体との協働などを既に実施している事例から、それぞれの自治会が学び運営に活かしていけるようサポートしていきたい。
- ・四街道市に多く住む外国人（特にアフガニスタン人）との共生についてテーマとして掲げ、自治会情報交換会での講演から現状を知り、交流についても意見交換をすることができた。次年度も引き続きこのテーマに取組み交流の場づくりを目指したい。
- ・地域支え合い推進会議に引き続き参加して他の関係機関と連携を進めるとともに、地域包括支援センターと情報交換を行い、互いの特徴を活かして地域づくりを進めることが必要と思われる。

#### 子どもをめぐる環境の課題を解決するための地域のコミュニティづくりをサポートすることについて

- ・昨年度に引き続き、市民と協働して「子どもサポートプロジェクト」の活動を進め、「ここにおいてよマップ」に掲載した子育て支援団体などの連携を図った。また場のある支援として、中高生のオープンスペース「RAKUまある」の活動も始まった。今後、子ども向けチラシ「よつかいどうのいばしょさがし」やWEBサイトも活用して、更に活動を知らせていきたい。
- ・「子ども支援団体交流会・円卓会議」や「子ども食堂交流会・学習会」などを開き、関係機関も交えた団体・機関のネットワークができつつある。次年度はこの連携を密にして、面として地域の子どもを支援できる体制をつくっていくことが必要と思われる。
- ・子ども食堂が増えてきた中で、食の衛生管理と、ボランティアの確保、子どもたちへの周知が課題となっているので、次年度も交流会と学習会を開催し解決を図る。
- ・次年度も「子ども見守りサポーター養成講座」を開いて、子ども支援の視点を学ぶ場をつくり、地域で子どもを見守る大人を増やすことを目指したい。

#### 地域づくりサロン「みんなでおしゃべりできる『居場所』をつくらう！」の活動について

- ・昨年度の地域づくりサロンから立ち上がった、みんなの学食「りんごとはちみつ」は、4月から本格オープンして、高校生のスタッフが参加し利用者も増え定着が見られた。
- ・公開講座「認知症になっても地域から孤立しないで自分らしく暮らすということ」を開催し多くの参加者が

得られたが、新たな居場所づくりには至らなかった。今後も引き続き、子ども、若者から高齢者まで多様な人を対象とする居場所づくりをサポートして豊かな地域づくりを目指したい。

#### 市民の地域づくりへの参加を促し、多様な人や団体が地域づくりに参加する企画をコーディネートすることについて

- ・大学生の「インターンシップ」や「夏休み小学生ボランティア体験」など、若い世代が地域の活動を知る機会をつくること、「大きなテーブル」では、実行委員会が中心となり、福祉施設の紹介・販売を通して団体と市民が地域づくりの活動に参加し交流する場面をつくることなどを引き続きコーディネートする。
- ・今年度末からの新型コロナウイルス感染症の影響により、地域づくりへの参加の場、集まって交流する場がこれまでのようにできない状況が続く中で、あらたな参加や交流の形を模索していきたい。

#### ウ. 地域づくりの情報の収集、把握、共有及び提供に関すること

- ・情報誌「みんなで」、チラシ、ホームページ、ブログ、Facebook、メールマガジンなど、今後もそれぞれの特徴を活かした情報発信を目指す。インスタグラムはまだあまり活用できていないが、大学生や若い世代を対象とする広報には、活用することが有効だと思われるので、今後の課題としたい。
- ・センター事業の基本となる事柄を掲載するホームページについては、いつも新鮮な情報を伝えられるよう見直しを行うとともに、迅速な更新ができるよう努めたい。

#### エ. 地域づくりを担う主体からの相談に関すること

- ・昨年度同様「地域の情報の問合せ」「地域の課題・活性化」の相談が多く、事業者や市外からの相談も目立つ。その対応には幅広い情報や知識が求められるので、情報の収集とスタッフ間での共有を図り相談対応力を高めたい。また、今後も相談から地域づくりの取り組みにつながられるようていねいな対応を心掛ける。
- ・センターで相談受付をしていることを様々な場面で知らせ、相談を必要としている人に情報が届くようにして、地域づくりについての相談機能を高めたい。

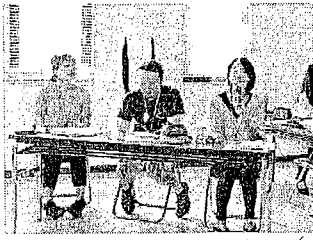
#### オ. コーディネーター業務遂行のための各種講習会の実施に関すること

- ・「ソシオ・マネジメント勉強会」は、4年継続して開き団体の運営を見直すことに役立ってきたが、今年度で終了とする。次年度は団体の活動のスキルアップを図るため「資金調達」や「広報」などの講座を計画する。
- ・地域づくりの活動を立上げコラボ四街道への申請にもつながるよう、地域の課題に気付き「アイデアのたね」を出し合う場をつくって、取り組みまで育てていくことが必要と思われる。その先に「コラボ塾」で事業企画や申請の仕方まで学べるようにしていきたい。
- ・3月に計画した講座についても、新型コロナウイルス感染症の影響により延期を決断した。今後、状況を見ながら適切な形で実施したり、オンラインでの講座開催なども検討する。

#### カ. その他上記遂行のために必要な事項に関すること

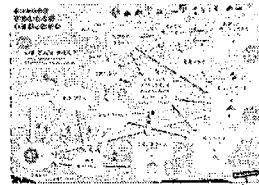
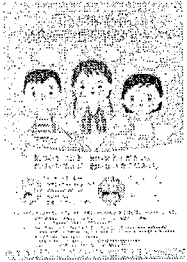
- ・今年度前半まで、センターのミーティングスペースを活用し、「みんなで×〇〇」という企画で、気軽に地域づくりに参加できる場を持つことができた。次年度も、状況に合わせ、新たな場の活用や参加の形について検討したい。
- ・災害対応・災害支援について  
「災害が起きた時にセンターがどういう役割を果たせるかを検討し、市民活動団体や事業者、関係機関との連携を図る」このことを次年度も重要なテーマとして位置づけたい。今年度実施できなかった「NPO・市民活動団体のための みんなで災害支援ネットワーク会議」を次年度開催するとともに、災害が起きた時、実際にセンターができる動きを絶えずシュミレーションしておくことが大切だと思われる。

平成31年度/令和元年度四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業報告（写真編）



子ども支援団体交流会・円卓会議

自治会情報交換会  
講演「地域生活者としての外国人」



〈産業祭りでのアピール〉



〈RAKUまある〉

子どもサポートプロジェクト

〈よつかいどうこどもたちの  
いばしょさがし〉チラシ

夏休み小学生ボランティア体験



子ども見守りサポーター養成講座  
（実践編）



子ども食堂交流会・学習会  
（食の安全に関する連続講座①）



大きなテーブル  
福祉サービス事業所合同説明会（右上）同日開催



地域づくりサロン「誰も置き去りにしない・されない地域づくり」

・公開講座Ⅰ 認知症になっても地域から孤立しないで  
自分らしく暮らすということ

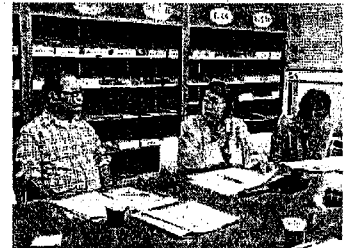


コラボ塾 (全4回)

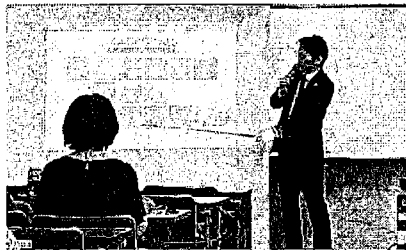


認知症カフェ見学会

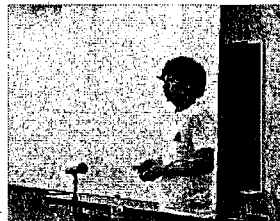
・公開講座Ⅱ 外国にルーツを持つ人達の  
現状を知る



ソシオ・マネジメント勉強会  
〈ローカルSDGsセミナー〉



〈ミーティングファシリテーション講座〉



みんなで×世界を旅する  
大学生の留学体験



大学生  
インターンシップ



市民活動団体の  
ファンドレイジング講座



みんなで地域づくり写真展  
(そごう千葉店にて)



中学生職場体験



地域課題への取組みのプロデュース 地域づくりを担う主体のネットワーク 地域づくりサロン 多様な人や団体が地域づくりに参				各種講習会・企画事業				情報の収集、把握、発信				相談対応		その他			
地域課題の解決	子どもをめぐる環境 「子ども支援団体交流会」 「子どもサポートプロジェクト」	居場所づくり コーディネートネットワーク	里山保全/アート	大きなテーブル ユニバーサル農業	夏休み小学生ボランティア	地域の課題を学ぶ(地域づくりサロン) ↓ コラボ塾	団体の運営力を高める講座 Aソシオマネジメント B広報 C資金調達マネジメント/資	情報コーナー 団体情報	情報誌『みんな』	HP◎ メルマガ□ ブログ○ facebook△ k△ インスタ■	みんなでカレンダー	随時 計日調整	インタビュー	職場体験	視察 その他	みんなで×○○○する	災害時のセンターの役割
4月	(支え合い推進会議・チーム北中に参加)	①居場所づくり ②情報発信(チラシ・ブログ)			受入れ団体募集		A B C	団体情報更新	編集	☆FBIにリンク添付	「ありがとう」	相談Facebook掲載				① 4/9	市内の防災の状況把握
5月		「困っている子いませんか」 チラシ配布	居場所ヒーリング			★5/15 「地域の課題を学ぶ」	★ 5/1 ① 5/22		↓	◎□ ○△ ■						② 5/14	危機管理室ヒアリング
6月		★6/15号 ☆子どもプロ・ミーティング				①認知症になって も... 6/4事例 6/18見学	② 6/8 公開	6/19 みんなで 広報Day	6/1 20号発行	◎□ ○△				6/6 匝瑳市			避難所運営委員学
7月		☆ 7/30子ども支援交流会・円卓会議	↓		★ 7/1号 夏ボラ	②外国にルーツを持つ人達... 7/2事例	③ 7/24			◎□ ○△ ■		↓		8/23 北中		③ 7/9 ④ 7/19	
8月		☆		(振り返り)	夏ボラ	★8/15号			↓	◎□ ○△ ■			8/26 実施				
9月		☆ ◎RAKUまるあるオープン			まとめ	コラボ塾 ①9/27	④ 9/25 公開		9/1 21号発行	◎□ ○△ ■		相談Facebook掲載		9/16 利根町			台風15号・情報発信
10月	10/5自治会情報交換会	☆ ◎RAKUまるある			まとめ 小学校へ報告	②10/11 ③10/25	⑤ 10/23 公開			◎ □ ○ △						10/25 中止	台風19号・情報発信
11月(移動)		☆ ◎RAKUまるある				(申請)	★ 11/1号 11/27		↓	◎ □ ○ △				12、13 旭中		⑤ 11/22	
12月		12/8子ども見守りサポーター講座 ☆◎RAKUまるある				↓	⑦ 12/25		12/1 22号発行	◎ □ ○ △							
1月		◎RAKUまるある ☆				④1/24プレゼン練習会	⑧ 1/22			◎ □ ○ △							
2月		2/13子ども食堂交流会・学習会 ◎RAKUまるある			2/18次年度に向け打合せ	(2/25公開プレゼン)	⑨ 2/26	2/22資金調達講座	↓	◎ □ ○ △							
3月		☆オンライン ◎RAKUまるある 中止 「いばしよさがし」チラシ作製配布	3/4ア→活動延期		夏ボラ受入れ団体募集	3/12オンライン「みんなでポジティブボヤキ座談会」	⑩ 3/25 中止	団体情報更新(準備)	3/1 23号発行	◎ □ ○ △	↓	↓					3/11災害支援ネットワーク会議延期

## 令和2年度 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業計画

四街道市みんなで地域づくりセンター

受託団体：特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

代表理事 牧野 昌子

業務責任者 勝又恵里子

ア.地域課題への取組みのプロデュースに関することイ.地域づくりを担う主体のネットワークに関すること

- 「地域づくりサロン」や地域づくりをテーマとした講座などを開き、地域課題への取組みにつなげます。
- 地域で市民、団体、事業者、関係機関などが、連携・協力して、地域の課題解決ができるようコーディネートします。

地域の高齢化の中での困りごとを解決するためのコミュニティづくりをサポートします。

## 自治会情報交換会

- ・地域における情報提供、情報交換の場をつくり、自治会／自治会、自治会／NPO／事業者などの主体同士の連携をコーディネートします。
- ・第21回自治会情報交換会（7月）  
地域の高齢化や外国人との共生など、自治会運営の課題や困りごとの解決へのアプローチをします。
- ・四街道市地域支え合い推進会議に参画し関係機関と連携・協働して、高齢者支援活動をサポートします。

## 市内在住外国人との共生地域づくり

- ・外国にルーツを持つ人たちと地域との橋渡しをして、安心して暮らせる地域づくりを支援します。
- ・アフガニスタンの人と地域に住む人たちとの交流の場を開くことを目指します。

子どもを取り巻く環境の課題を解決するためのコミュニティづくりをサポートします。

- ・子どもサポートプロジェクトを継続し、地域の困難を抱える子どもを支援するための具体的な取り組みとして、①居場所づくり（中高生のフリースペース「RAKUまある」の活動の周知、団体間の地域連携）②情報発信（支援を必要とする子どもに届くチラシ「こどもたちのいばしょさがし」配布、情報サイトの更新）などを進めます。
- ・第2回子ども食堂交流会・学習会（7月）を子ども支援団体交流会・円卓会議として開催し、支援団体、関係機関などが現状把握や課題解決に向けた情報交換を行い、地域での支援について連携を図ります。
- ・支援の視点を学び、地域で子どもを見守る大人を増やすため、「子ども見守りサポーター養成講座」を開催します。（若者の就労支援、ひきこもり親子の支援などについて）

## ○みんなで地域づくりのアイデアのたねを探し、みんなで育てよう！

## 居場所づくり だれでも通えるみんなの居場所

子どもからお年寄り、障害のある方など多様な人たちがいて、はじめてのお客さん同士でも自然と交流できる場所づくりを目指します。

## まちにとけこむアート活動 ～だれでも参加できるアートで街づくり～

アートを福祉施設や発達障害のある子どもたち、環境保護などに活かして活動しているこまちだたまおさんの活動内容を聞き、四街道でアートを生かしたまちづくりのヒントを考え合います。

## 駅北口四街道一区公園の活用、電々栗山旧自治会館の活用など

みんなの「モウソウ座談会」（第1回 4月24日、第2回5月9日）

自分たちの生活の中でちょっと困った、こうだったらよいのに、などと思うことを話す場をつくります。コラボ四街道などを利用し、その思いを実現できるよう支援します。

○災害時のセンターの役割を検討し、災害支援ネットワークづくりを進めます。

- ・災害時における行政・NPO・ボランティア等との連携・協働の必要性が認められるなか、災害が起きた時にセンターがどういう役割が果たせるかを検討し、市民活動団体や事業者、関係機関との連携を図ります。
- ・NPO・市民活動団体のための「みんなで災害支援ネットワーク会議」…市民活動団体が災害支援をする側の重要な主体となることを意識し、具体的な支援の方法をイメージできるようにして、災害支援のネットワークづくりを目指します。

事例報告とワークショップ

事例 ①富津市 nigiwai ②市内 高齢者施設(社福) 勝曼会ケアハウスろうたす

- ・令和元年台風15号・19号の県内被災地域を訪れ、復旧・復興状況と支援活動について学びます。(6月半ば、市バスによる見学)

○四街道の魅力発信や地域活性化について、「みんなで地域づくり」(市民協働)をすすめる拠点として市民、市民活動団体、行政、関係機関をつなぎ、コーディネートします。

- ・地域づくりを進める団体の活動に対して必要なサポートを行い、連携を図ります。
- ・団体の活動を支援するにあたり、マネジメント力をつけるための方法やスキルを提供します。
- ・四街道市が実施する地域活性化や地域づくりの事業などに協力します。

○市民の主体的な地域づくりへの参加を促し、多様な人や団体が地域づくりに参加する企画を実施します。

- ・夏休み小学生ボランティア体験(ボランティアセンターの協力を得て実施)

小学生がボランティア体験を通して市民活動の意義を知るとともに、子どもたちを通して保護者にも知らせる機会をつくります。実施後は、各小学校に報告書を届けます。

- ・福祉施設 紹介・販売フェア「大きなテーブル」(共催:四街道市地域振興財団、協力:障害者支援課)  
各福祉団体が自分の団体の特色を生かした活動をしなが、賃金アップにつながる商品づくりをすることを支援し、参加団体と市民、参加団体同士の交流・連携を図ります。

実行委員会を中心に運営し、団体の紹介を行って新たな活動・交流を図り、障害のあるなしに関わらず一緒に活動できる場をつくります(6月26日、27日)

- ・「ちばユニバーサル農業フェスタ in 四街道」コーディネート

農業者、地域住民、障害者、高齢者、若者、子どもなどさまざまな人々に関わることができ、農業を通じて、出会い、交流し、はたらきあう「ユニバーサル農業=みんなで関わる農業」を広め、農業の持つ可能性や価値を市内外に発信します。(12月5日)

実行委員会を立ち上げて運営し、センターは地域づくりの事業としてコーディネートします。

ウ.地域づくりの情報の収集、把握、共有及び提供に関すること

- ・情報誌「みんなで」は市民を対象として地域づくりに役立つ記事を掲載し、年4回各4500部発行します。
- ・ホームページ、ブログ、メールマガジン、Facebook、インスタグラムなど、タイムリーで効果的な情報発信を目指します。
- ・ホームページのトップページに「みんなでカレンダープロジェクト」を置きます。
- ・必要に応じてニュースリリースを行い、メディアを通して市内外に広く情報発信をします。
- ・イベントチラシ配布やセンター内の掲示など、紙媒体による情報発信を工夫します。
- ・団体が効果的に情報発信できるようサポートします。(ホームページでの団体紹介、Facebookでのイベント告知・取材記事掲載、団体向けの情報発信に関する講座や相談受付等)
- ・福島県から送付される「福島民報」「福島民友」をセンターで配架します。
- ・センター事業のまとめの冊子「みんなで、地域を、デザインしよう。」を有効に活用します。

## エ.地域づくりを担う主体からの相談に関すること

- ・相談を常時受け付け、市民活動団体の会計相談は日程調整をして対応します。
- ・税務や労務、団体運営のリスク管理などの専門的な事項については、NPO クラブを通し税理士・社会保険労務士などの専門家と連携して回答します。
- ・市役所の各担当課および関係機関と連携して相談対応にあたります。
- ・コーディネーターが市の施策や制度などについて学び、相談対応力を高めます。
- ・相談の事例をFacebookなどで紹介することなどにより、新たな相談者を増やします。

## オ.上記業務遂行のための各種講習会の実施に関すること

- 「市民活動スキルアップ研修」を実施し、団体の運営力を高めます。
  - ・ファンドレイジング（資金調達）
  - ・広報講座（写真、チラシ作り、文章など）、広報担当者によるおもしろ広報会議
- 「コラボ塾」 地域づくりの事業を学びあう場をつくり、みんなで地域づくり事業提案制度「コラボ四街道」による新たな事業・活動などを創出します。
  - 年度初めから、新しく地域で活動を始める団体を掘り起して、新規コラボ塾参加団体を開拓します。
  - コラボ四街道の広報を恒常的に展開します。

## カ.その他上記遂行のために必要な事項に関すること

- ・ミーティングスペースの活用を進めます。これまでセンターに来たことがない人の来館や地域づくりを知る機会とするための企画を実施します。
- ・他市自治体視察、小・中学校職場体験の受入れを行うとともに、様々な場面で学校との連携を図ります。
- ・地域づくりを担う人材育成を目的として、インターンシップ、ボランティア受入れなどを行います。
- ・他機関、他の地域づくりを担う主体との連携及び協力を図ります。

地域課題への取組みのプロデュース 地域づくりを担う主体のネットワーク 地域づくりサロン 多様な人や団体が地域づくりに参加										各種講習会・企画事業				情報の収集、把握、発信				相談対応	その他					
地域自治会 情報交換会 支え合い(森)	市内外国人との共生	子ども支援団体交流会 子どもサポートプロジェクト	居場所づくり	まち活動	(公園活用)	大きなテーブル ユニバーサル農業フェスタ	夏休み小学生ボランティア	災害対応/支援ネットワーク	WEB座談会	→	団体を高める	の運営力	の講座	その他	団体情報	情報コーナー/センター展示	情報誌「みんな」	HP◎ メルマガ□ ブログ○ FB△ インスタ■	みんなでカレンダー	随時計日調整	インタビュー	職場体験	視察その他	みんなで×○○する
4月				4/19			受入れ団体募集								団体情報更新		HP検討 ◎ □ ○ △		Facebook掲載					
5月		5/12ミーティング(第2火)							5/19 22 ZOOM座談会A		★5/15スキルアップ						▽	◎ □ ○ △						
6月		6/9ミーティング				★6/15号 6/26,27大きなテーブル		★6/11市見学中	6/9,12座談会B		①6/20講義	広報講座①					みんな24号	◎ □ ○ △						
7月							夏ボラ				②7/4ワーク+個別相談	広報講座②						◎ □ ○ △		相談Facebook掲載		○		
8月							夏ボラ			★8/15コラボ塾							▽	◎ □ ○ △			実施			
9月	秋以降▼	子ども食堂交流会・学習会(円卓)		秋以降▼			まとめ小学校へ報告	秋以降▼		①9/3							みんな25号	◎ □ ○ △						
10月								災害支援ネットワーク		③10/1								◎ □ ○ △		相談Facebook掲載				
11月	自治会情報交換会	★11/15号				★11/15号											▽	◎ □ ○ △				○		
12月		見守りサポーター養成講座														そご写真展示	みんな26号	◎ □ ○ △						
1月										⑤1/21プレゼン								◎ □ ○ △		相談Facebook掲載				
2月																	▽	◎ □ ○ △						
3月															団体情報更新		みんな27号	◎ □ ○ △	▽					

## みんなので地域づくり事業提案制度（コロナ四街道）事業一覧（令和元年度実施）

No.	団体名 (代表者氏名)	事業名	事業概要	新規 継続		事業 部門		補助額 (事業総額)	担当課
				新	継	地	19		
1	四街道子どもまちづくりプロジェクト実行委員会 (関口 笑子)	四街道子どもまちづくりプロジェクト	子どもたちがつくることものまち、地域の人が集まるみんなのでマナーケック、みんなの居場所となるプレーパークを同時開催し、イベント開催だけでなく準備やそれ以外の期間も含め地域の人々を繋げるきっかけを作る。	○	○	○	300,000 (461,433)	社会教育課 スポーツ振興課	
2	四街道・科学未来からくり倶楽部 (野口 英一)	おやこ de プログラミング事業	「プログラミング的思考」を育むことを目指して、親子でプログラミングを遊びながら学べる環境を提供し、学校と家庭との連携構築の一助として活動することを目標とする。また、体験教室の専用コンピュータを充実し、現実のものづくりに活用される ICT 技術を実感できる、作って遊べるプログラミングに取り組む。	○	○	○	300,000 (419,792)	指導課	
3	四街道あそびっこ基地 (竹原 耀子)	みんなのでつみこむあたたか居場所づくり事業『四街道あそびっこ基地』	四街道中学校・四街道西中学校区の空き家を活用した ①子ども連の居場所づくり ②子育て世代の親子の居場所づくり ③遊び・自由工作・手しごとを伝える場づくり ④居場所づくりを行うための学習会・視察 等	○	○	○	360,000 (407,769)	子育て支援課 社会教育課	
4	やまなし「月見の里」の会 (田谷 佳晴)	やまなし「月見の里」整備事業 やまなし月見の里あそび場づくりプロジェクト	協力者所有の里山（四街道市山梨地区）の整備を行い、地域・家族が集う場を作るとともに、整備に伴う竹木その他を利用したモノづくりの場として、将来は何らかのハンディキャップをもつ人たちが、必要とされ、集まれる場所作りを行う。そして事業としての収益、働く人の収入を確保できることを目指す。 また、市内各地にある里山の整備についても関係団体と協働で整備を行うことにより、四街道市の特徴である優れた住環境と里山を生かしていく。	○	○	○	360,000 (406,287)	自治振興課 産業振興課	
5	ちよこつとクラブ[地域づくり部門] (松浦 由紀子)	地域交流サロン「カフェ&ブレイ」事業	リノベーションした空き家を利用して快適なサロンを作り、地域住人が気軽に集い憩える場所を提供し、交流を図る。集い、楽しみ、思いやり、助け合いの輪を広げ、心身の健康力を高め高齢化社会を活性化させる。	○	○	○	500,000 (928,040)	高齢者支援課 健康増進課	
6	ちよこつとクラブ[拠点づくり部門] (松浦 由紀子)	地域交流サロン ちよこつとサロン（仮称） 改修工事	地域の住民が気軽に集い憩える快適な場所や空間を提供するために、空き家をリノベーションする。 カフェ&ブレイサロンとしてお茶を飲みながら、会話や健康マージャン、将棋、趣味の仲間など、様々な人が集える機能を持ったスペースを創出するためのリフォームを行う。	○	○	○	5,000,000 (7,806,360)		



団体名 (代表者氏名)	事業名	事業概要	新規		事業部門		補助額 (事業総額)	担当課
			新	継	地	地		
7 四街道子ども記者クラブ (両見 英世)	中学生と作るまちのフリーペーパー事業	市内中学生と、四街道市内の出来事や人物取材した記事を一ペーパーにまとめ、市内中学校へ通う生徒に配布を行う。大人だけでなく、子どもたちに向けても、四街道市のいいところを手に届く方法で配布することで、まちへの理解や郷土愛を育む。	○		○	19	0 (130,898)	シテイセールス推進課 産業振興課 社会教育課
8 子ども商店街実行委員会 (千協 拓海)	子ども商店街 in 産業まつり	中学生から大学生の青少年が企画・運営し、商店のみならずから仕入れなどの協力を得ながら交流するほか、小学生とまちや商店の仕組みを学ぶ。産業まつりにて「子ども商店街」を開催し、産業の振興にも貢献する。	○		○		305,000 (475,426)	産業振興課 社会教育課 スポーツ振興課
9 YSGGバンド (小林 修)	地域の絆づくりと仲間づくりを深める事業	音楽の演奏会「みんなで歌おう会」を通じて地域住民の親睦を深める。併せて、子どもから大人まで元気で長生き出来るまちづくりを行う。	○		○		500,000 (650,713)	
10 ととて～つながる支援の輪～ (後藤 裕紀)	発達に課題を抱える子供の理解と支援が出来る地域づくり	発達に課題を抱える子どもを持つ家族や支援者を対象にしたワークショップ、専門家や有識者による講演会・公開セミナー等を開催し、主体的に考え行動が出来る市民を増やすことで、発達に課題を抱える子供やその家族が住みやすい地域を形成する。	○		○		373,000 (445,398)	障害者支援課
11 たろやま会 (任海 正衛)	自然は素晴らしい、みんなの里山～たろやまの郷～に行こう	たろやまの郷の自然の豊かさをわかりやすい写真入りで紹介する冊子を作成。また、子どもから大人まで楽しめる自然教室等を開催する。事業を通じ、市民にたろやまの郷の楽しさ、素晴らしさ、大切さを知ってもらおう。	○		○		292,000 (325,000)	都市計画課
12 ハニー&アップル (伊藤 恭子)	みんなの学食プロジェクト	誰もが気軽に立ち寄れる「みんなの学食」(居場所・食事・おしゃべり会)の開催。 子ども(特に中高生)が一人でも安心して来られる食堂を目指しながら孤食を防ぎ、子育て世代(特に母親)も気軽ににおしゃべりできる場としての役割も果たしていく。	○		○		167,000 (320,390)	
							8,457,000 地:3,457,000 拠:5,000,000	

【新規・継続】新…新規事業、継…継続事業 (○数字は本制度への申請回数) / 【事業部門】拠…拠点づくり部門、地…地域づくり部門、19…アンダー19部門

## コメントシート

委員氏名：

	団体名	コメント
1	四街道こどもまちづくりプロジェクト実行委員会	
2	四街道・科学未来からくり倶楽部	
3	四街道あそびっこ基地	
4	やまなし「月見の里」づくりの会	
5	ちょこっとクラブ[地域づくり部門]	
6	ちょこっとクラブ[拠点づくり部門]	
7	四街道こども記者クラブ	
8	子ども商店街実行委員会	
9	YSGG バンド	
10	てとて ～つながる支援の輪～	
11	たるやま会	
12	ハニー&アップル	